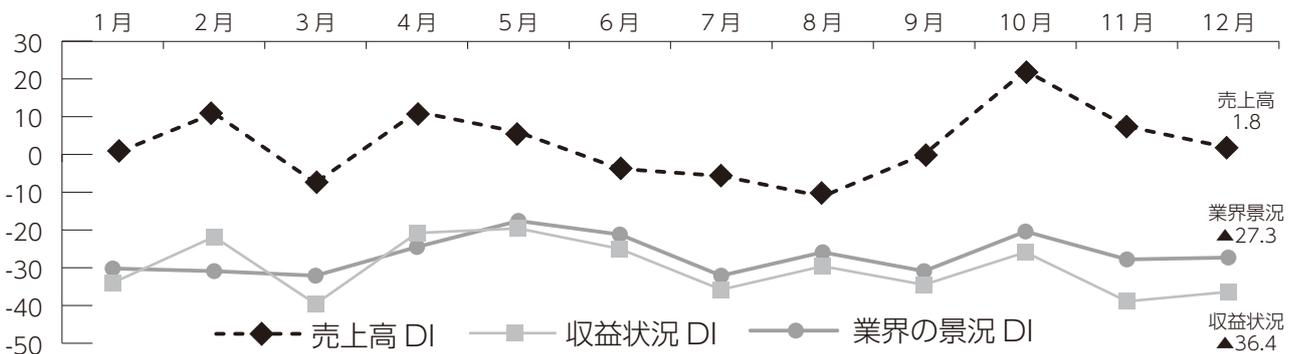


経済活動の正常化は進むも、 収益状況に厳しさ続く

概況

経済活動の正常化に伴い需要の回復がみられるも、原材料やエネルギー価格の再上昇を受け、コスト増加に見合う十分な転嫁が進まず収益状況の悪化が続く。また、一部業種では人手不足で需要増に対応が追いつかないとの声も聞かれた。一方、旅館・ホテル業では全国旅行支援により、売上高・収益ともに増加した。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☀	☁	☁	☁	☁	☀	☁	☁
	窯業・土石	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☀	—	☁	☁	☀	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☁	—	☁	☁	☁	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>【パン】 売上高は増加するも、原材料とエネルギー価格が上昇しており収益増加に至らず。特に電気代は前年比4割を超える上昇であった。2月以降に再値上げを検討する組合員が多くみられる。</p> <p>【菓子】 例年並みの多忙さであった。餅等の一部商品を値上げしたが売上に悪影響は出なかった。</p> <p>【めん類】 お歳暮と年末の荷動きは昨年同様であるも、原材料価格上昇の影響で収益状況は悪化した。</p>
織 維 製 品	<p>【織物】 ゆかた等の和装合成繊維は、引き合いが少なく極端に厳しい状況。一方、婦人服地は、コロナ流行前水準には程遠いものの、取引が増加しコロナからの立ち直りを感じる。</p> <p>【刺繍】 需要の高まりは感じられるものの、価格転嫁が進まず利益は上がっていない。</p> <p>【外衣・シャツ】 引き合いは多いものの、人手不足で受注できない案件が増えてきている。</p>
窯業・土石	<p>【生コンクリート】 北部地域を除く全県で出荷量が落ち込んだ。近年の傾向として山間地域における出荷量の減少が続くなど、需要の偏りが顕著になっている。</p> <p>【碎石】 吾妻地域は災害工事が概ね完了したため出荷量が大幅に減少した。西毛地域は工事が少なく、渋川地域も大型物件の公共事業がないため、厳しい状況が続く。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>【機械金属（高崎市）】 建設機械関連は好調に推移していたが、陰りが見え始める。一方、自動車関連は半導体の調達不安定しつつあり横ばいで推移。また、人手不足の状況にある。</p> <p>【電機】 水力発電関連の引き合いが多く、脱炭素社会実現に向けた動きで火力発電から水力発電へと移行しているものと思われる。</p> <p>【自動車関連】 SUBARUは生産計画より15%-25%の減産となり、下請企業の売上高は減少。一方、SUBARUの新規発注予定もあり、売上増への期待もみられる。</p>
そ の 他	<p>【製材】 荷動きが鈍い上、販売価格が低下傾向にある。</p> <p>【紙製品】 原材料価格が再び上昇し、転嫁せざるを得ない状況にある。1年で2度の値上げは初めてのこと、転嫁に対する反発を受けるのは必至とみている。</p> <p>【印刷】 1年間で3度目となる用紙価格の上昇が今後大きな影響を及ぼすと思われる。他の資材の値上がりも含め先行きを不安視。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>【建築材料】 仕入価格の高騰を受け販売価格の上昇が続く。また、営業職希望の人材が不足している。</p> <p>【再生資源】 鉄屑の国内市況は堅調に推移し、輸出市況は上昇基調がみられるも、円高進行が勢いを削ぐ格好となっている。古紙については、年末の発生期であるも集荷量は振るわず。</p>
小 売 業	<p>【家電】 全体的に低調の推移となったが、前橋市の「省エネ家電買換え補助金」の効果は大きく、積極的に販促した市内の組合員は好調であった。</p> <p>【生花】 行動制限がなかったこともあり、年末の正月用需要はまずまずで売上高は増加した。しかし、資材の値上がり分を転嫁できずに利益は圧迫された。</p>
商 店 街	<p>【高崎市】 コロナの影響は想像より小さく賑やかさがみられた。しかし、個人店においては客足が戻りきらない上、仕入価格上昇もあり厳しい状況にある。</p> <p>【渋川市】 電子地域通貨「渋Pay」導入キャンペーンのプレミアムポイント付与は3日で予算終了。代わって、ダウンロードでのポイント付与が始まり、購買意欲の向上が感じられる。</p> <p>【藤岡市】 市内の対象店舗でPayPay決済を行うと30%ポイント還元キャンペーンを開始した。</p> <p>【前橋市】 前橋市発行のプレミアム付商品券は利用者が多く好評。歳末の売出しは前年並みでまずまずの成果であった。</p>
サ ー ビ ス 業	<p>【伊香保温泉】 全国旅行支援の効果は大きく売上高は増加した。ただ、団体客の利用が少なく従業員の労力負担は大きいものとなった。</p> <p>【草津温泉】 全国旅行支援とインバウンド増加により入込客数は増加するも、寒冷地であることから光熱費の上昇が大きなマイナス要因となる。</p>
建 設 業	<p>【解体工事】 年末の駆け込み需要とテナント退去に伴う解体工事需要があるも、工事は若干の落ち込みとなった。</p> <p>【塗装工事】 物価上昇や電気代の高騰の影響が顕著に表れ、一般住宅の塗替えや企業の改修工事の需要は落ち込む。</p>
運 輸 業	<p>【一般貨物運送】 荷動きは低調に推移した。ドライバー不足の状況が続いており、庸車手配に苦慮する場面が多くみられた。</p> <p>【貨物軽自動車運送】 年末の慌たしさは感じられず。スポット配送では食品関係とドラッグストアへの配送が増加した。</p>

※本調査は、情報連絡員55人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。